

開催日時	令和3年9月17日(金) 19:30~23:00
開催場所	リモート開催
出席者	藤井・安尾・相澤・井上・帯刀・大長・長濱・畑井・日高・中村
欠席者	安部
記録者	中村
議題 および 決定事項	<p>1. 各事業について</p> <p>(1) コミュニケーション研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事業報告・アンケート結果報告 <ul style="list-style-type: none"> ・事業報告書を参照 ② 次年度に向けての課題など <ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉部が主催するコミュニケーション研修の目的は何かを再考する必要がある <ul style="list-style-type: none"> → 松村さんが講師をすることが前提で研修の組み立てを考えるのではなくゼロベースで考える(県士会員に何が必要か) → キーワード：情報共有 ・来年度の計画に向けて早い段階から議論を進める必要がある <p>(2) 地域ケア会議推進リーダー導入研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事業報告・アンケート結果報告 <ul style="list-style-type: none"> ・事業報告書、アンケート結果、次年度の課題を参照 <ul style="list-style-type: none"> → 広報・HPTA メールを追記 ② 今年度の振り返り・次年度に向けた課題 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と今年度の違い <ul style="list-style-type: none"> → 解決課題と理由を部員でまとめて画面共有した行動が良かった → 休憩時間を使ってファシリテーター間での情報共有と軌道修正をしたことがよかった ・現在は課題抽出から目標設定までとしているが、実際に地域ケア会議に参加している方等に次のステップとしての内容を盛り込んだ方がよいか <p>(3) 姿勢と動作実技研修(部会資料を参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 動画撮影 <ul style="list-style-type: none"> ・日時：9/26(日) 9:00~ ・場所：長田区文化センター ・協力者：藤井・安尾・安部・大長・畑井・日高・相澤・福祉用具業者 ・準備物：ビデオカメラ、三脚(安尾) <ul style="list-style-type: none"> ポジショニングピロー(藤井) パソコン、目印用テープ、延長コード(中村) ・モデルの服装とマットレスの色が被らないよう持参いただくマットレスを確認する <ul style="list-style-type: none"> → 確認次第、大長さんに連絡する(中村) ※貸与機器の搬入については部員にも協力を依頼する ② 案内チラシ <ul style="list-style-type: none"> ・今年度のテーマについては、フォントを大きくし 内に入れ込む ・『今年度も保健福祉部では・・・』→『保健福祉部では・・・』 ・『<input checked="" type="checkbox"/>』部分については、コロナ禍の影響により昨年度からオンライン研修として開催するという主旨の内容に変更する ・セミナー規約の表記はリンクを載せるだけでなく、一部抜粋した内容を記載した上でリンクを載せておく

議 題
お よ び
決 定 事 項

- ・募集人数は、昨年度と同様に各テーマを受講した感想など共有する程度であれば100名のままとする（※当日参加する部員も申し込む）
 - ・申込受付は、グループ分けと資料配布を考慮して12/5(日)のままとする
 - ③ 本番までのスケジュール
 - ・部会資料を参照
 - ④ 臨床あるある：部員からの意見聴取
 - ・背臥位
 - －体の捻れ、変形により本来は支持面となる部分が浮いている
 - －股関節の伸展制限がある場合、見かけ上、安定した臥位姿勢を取っている
 - ・側臥位
 - －骨盤の重みが支持基底面から外れている（後ろにある）ため、手すりを持ったままの側臥位となり全身の緊張が上がる
 - ・寝返り
 - －寝返る側と反対の上肢でベッドを押さえつけて体を起こす（体幹の筋力や柔軟性を使って寝返る）
 - －ベッド柵を引き込んで寝返ろうとするが反対側が残ってしまう
 - －側臥位にもなれず起き上がれない
 - ・起き上がり
 - －背臥位で下腿を下ろしたままで起き上がれていない状態
 - －側臥位を経由せずに起き上がろうとしている
 - －足を下ろすことができず、起き上がれない
 - －中途半端に足を下ろしてしまい起き上がれていない －下ろした足でベッド端を引っかけて起き上がろうとする
 - ・寝ころび
 - －ドスンと寝ころぶ
 - －側臥位を取らずに枕に向かって寝ころんでいる
 - －ベッドに対して体は斜めになっている（無理に足を上げようとする）
 - －サイドレールが長い場合、ベッドの下の方に寝てしまう（その後の起き上がりにも影響を及ぼしている）
 - ・その他
 - －坐位ではいざり（座り直し）があるように臥位でもいざりのような動きを見ることも必要なのではないか
 - －ベッド柵は布団が落ちないためのものであり、寝返りや起き上がりのためのものではないことを伝えるかどうか
 - －下肢（下腿）がベッド端から落ちた状態で臥位姿勢を取っている、そして、その状態から起き上がるためずり落ちることが多い
- 上記より
- ・ベッド上移動、殿部・肩甲帯の動きに関する要素を入れてはどうか
 - SR ソフトビジョンで視覚的に見ることはできないか
- (4) 福祉用具研修
- ① 案内チラシ（内容・レイアウトに関する協議）
 - ・開催が同日・別日によって “一部・二部”、“一日目・二日目”と表記を分けた方がよい
 - 昨年度の開催結果を踏まえて二日間開催の方向で考える
 - ・二日間開催であれば案内チラシも2枚に分けてはどうか
 - 一日目・二日目の内容を副題として表記してはどうか